

修正部分

序文

(1) 序文【委員会】

(元)

現行計画の策定から 10 年以上経過し、また、東日本大震災の発生とその災害復旧も行なってまいりましたことから、現行計画の見直しが必要な時点になったと判断をし、平成 29 年度より計画の見直しを進めてまいったところでございます。

史跡仙台城跡の保存と活用の在り方につきまして、「仙台城跡保存活用計画等検討委員会」の委員の皆様方のご検討及び市民の皆様のご意見も踏まえまして、このたび「史跡仙台城跡保存活用計画」をとりまとめたところです。

今後は、本書に示した内容に基づき、仙台城跡の保存と活用について取り組んでまいります。最後になりますが、本計画をまとめるにあたり、多くの方々にご指導ご助言をいただきましたことについて、感謝申し上げます。

(修正)

現行計画の策定から 10 年以上経過し、また、東日本大震災の発生とその災害復旧も行なってまいりましたことから、現行計画の見直しが必要な時点になったと判断をし、平成 29 年度より計画の見直しを進めてまいったところでございます。

前回策定した基本構想は「整備」の方針に重きを置いたものでございましたが、「史跡仙台城跡保存活用計画」は、史跡仙台城跡のあるべき姿の実現をめざす保存と活用の基本的な考え方を示すものであり、史跡仙台城跡の保存と活用の在り方につきまして、「仙台城跡保存活用計画等検討委員会」の委員の皆様方のご検討及び市民の皆様のご意見も踏まえまして、このたび「史跡仙台城跡保存活用計画」をとりまとめたところで策定いたしました。

今後は、本書計画に示した内容に基づき、仙台城跡の保存と活用について取り組んでまいります。最後になりますが、本計画をまとめるにあたり、多くの方々にご指導ご助言をいただきましたことについて、感謝申し上げます。

例言

(2) 例言

(追加)

4 城内の曲輪等の名称は、『仙台市史特別編 7 城館』（2006 仙台市史編さん委員会編）を参考とした。

第 1 章

(3) P1 第 1 章 計画策定の沿革・目的 第 1 節 計画策定の沿革【パブコメ】

(元)

・・・また、平成 27 年（2015）3 月に、文化庁から「史跡等・文化的景観マネジメント支援事業報告書」が出され、個別の史跡等の性質・状況に応じて、保存活用事業を適切に実施するためには、保存管理の

みならず、広く活用・整備等を視野に入れた保存活用計画の策定が必要であると示されました。これを踏まえて、保存活用計画を新たに策定することとしました。

(修正)

・・・また、平成27年(2015)3月に、文化庁から「史跡等・文化的景観マネジメント支援事業報告書」が出され、個別の史跡等の性質・状況に応じて、保存活用事業を適切に実施するためには、保存管理のみならず、広く活用・整備等を視野に入れた保存活用計画の策定が必要であると示されました。また、平成31年4月1日に施行される文化財保護法の一部改正では、文化財の計画的な保存と活用を促進するという趣旨から、文化財の所有者又は管理団体は、保存活用計画を作成し、国の認定を申請できるとされました。これらを踏まえて、保存活用計画を新たに策定することとし、法律施行後は国への申請の準備を進めていきますました。

(4) P2 第1章 計画策定の沿革・目的 第3節 委員会の設置・経緯 (委員会名簿)

(元)

(オブザーバー) 文化庁文化財部記念物課 山下 信一郎
宮城県教育庁文化財課 関口 重樹

(修正)

(オブザーバー) ~~文化庁文化財部記念物課 山下 信一郎~~
宮城県教育庁文化財課 関口 重樹

(5) P2 第1章 計画策定の沿革・目的 第3節 委員会の設置・経緯 委員会の経過

(元)

第5回 平成30年 月 日

・中間案の検討

第6回 平成30年 月 日

・パブリックコメント等への対応

(修正)

第5回 平成30年 10月19日

・中間案の検討

第6回 平成30年 12月26日

・パブリックコメント等への対応

文化庁の指導

平成30年8月1日、10月31日に、文化庁文化財第二課 史跡部門 山下信一郎主任文化財調査官の指導を受けた。

(6) P4 第1章 計画策定の沿革・目的 第4節 2計画期間 3行目

(元) 2019年度から ~~2039~~年度までのおおむね20年間

(修正) 2019年度から 2038年度までのおおむね20年間

第2章

(7) P11 第2章 仙台城跡の概要 第1節 仙台城跡の位置と自然的環境 4 仙台城跡の地質【パブコメ】

(元) 青葉山には、鮮新統の仙台層群が下位から「竜ノ口層」「向山層」「大年寺層」があり、上位に更新統の「青葉山層」が分布しています。

「竜ノ口層」は、主に、・・・

(修正) 青葉山には、鮮新統の仙台層群が下位から「竜メの口層」「向山層」「大年寺層」があり、上位に更新統の「青葉山層」が分布しています。

「竜メの口層」は、主に、・・・

(8) P12 第2章 仙台城跡の概要 第1節 仙台城跡の位置と自然的環境 5 仙台城跡周辺の動植物【委員会・パブコメ】

(元)

(1) 植物

○東北大学理学部附属植物園（御裏林）

園内は、モミやアカマツの自然林とコナラの二次林がほとんどで、これにブナやイヌブナなどが混在する。モミ、イヌブナ林にはアカガシ、シラカシ、ウラジロガシ、アラカシ等がのカシ類も良く混じり、暖温帯林から冷温帯林への移行帯の中間温帯林である。沢筋ではサワシバ、アカシデ、イヌシデなども多く混じる。これらの森林の一部は、東北大学に移管される以前は薪炭林として間伐されたところもあったようだが、植物園として保護された結果、現在では本来の植生がよく回復している。他にカヤラン、マツラン、ノキシノブ、ヒメノキシノブなどの着生植物が豊富に見られることも森林の発達状態の良さを物語っている。←林床にはスズタケ、ヒメノヤガラ、ムヨウラン、ユウシュンラン、オヤリハグマ、センダイトウヒレン、ヒメシャガ、サクラソウ、オオケタネツケバナ、ミズ、ウワバミソウ、ニッコウネコノメ、ヤマネコノメソウなどがみられる。

コケ植物は、地上生の種類も樹幹上を覆うものも、本沢で種類、量ともに豊富である。

○本丸跡 護国神社境内地・本丸平場

本丸跡は人手がかなり入っており、本丸会館裏の小山にやや自然の景観が残されているにすぎない。この小山をはじめ、神社境内地には以下の植物が確認できる。

スギ、ケヤキ、イヌシデ、コナラ、アカガシ、シロダモ、モミ、カヤ、イヌツゲ、アオキ、イタヤカエデ、サクラ、タカオカエデ、ヒノキ、サンゴジュ、ネズミモチ、アセビ、ホオノキ、ヤブラン、アズマザサ、アズマネザサ、ウラシマソウ、ヤブコウジ、ヤブラン、ジャノヒゲ

○本丸石垣

ノキシノブ、ヒメユキシノブ、ユキノシタなどが着生している。

○本丸から川内への市道沿い

アカマツ、スギ、ヒノキなどが植えられている他、ケヤキやモミも残っている。←シロダモ、アオキ、夏にはユウバユリが林立する。

○三の丸（東丸）跡

この地域の大部分が博物館の敷地となっており、自然の植生がほとんど残っていない。

(五色沼周辺・博物館裏)

アカマツ、アカシデ、シロヤナギ、エノキ、ヤマグワ、オニグルミ、シロダモ、コナラ、ネムノキ、ケンポナシ、ミズキ、ヤブデマリ、オオイタドリ、ヤブコウジ、リュメンシダ、オオケタネツケバナ

(植林されたもの) ヤマザクラ、ソメイヨシノ、トチノキ、スギ

○川内・追廻

この地域の大半は人為的な環境であり、在来種の他に街路樹、園芸植物、帰化植物などが多くみられる。コケ植物でも人為的影響が強く、自然植生と違った種がみられる。千貫沢には、胸高直径60 cmにおよぶモミやケヤキを交えた小規模な林が残っている。

(街路樹) メタセコイヤ、ヒマラヤスギ、ユリノキ、サクラ類、ポプラ、ヤナギ類、ケヤキ

(住宅地・路傍) オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、オランダミミナグサ、アカミタンポポ、セイヨウタンポポ、ノボロギク、スズメノカタビラ、タチタネツケバナ、カモガヤ、イヌムギ、ヒメムカシヨモギオオアレチギク、ヒメジョオン、サギゴケ、ヤブタビラコ、オニタビラコ、チチコグサ、ヤマイ、クサイ、ヒメクグ

(川内記念講堂裏の沢) モミ、ケヤキ、スギ、シラカシ、シロダモ、カヤ、イヌツゲ、アオキ、アズマザサ、ツルマキ、キツタ、オドリコソウ、タネツケバナ、ネコノメソウ

○竜の口溪谷

急峻な斜面には地形的極相林であるアカシデ林が帯状に成立し、また自然崖にはススキもみられる。崖の壁面にはタヌキランやダイヤモンドソウが着生し、壁面の中腹から谷底にかけてはツクシハギやキハギが多い。その他の場所には以下の植物が確認される。

(川岸) クリ、コナラ、アカガシ、アカシデ、エドヒガン、アズマネザサ、ミヤギザサ、スズタケ、タニウツギ、アカメガシワ、オオイタドリ、シラネセンキュウ

(台地上) シロダモ、アオキ、イヌツゲ

(乾いた岩上) シロヤナギ、イヌコリヤナギ、タチヤナギ

(9) P13 第2章 仙台城跡の概要 第1節 仙台城跡の位置と自然的環境 5 仙台城跡周辺の動植物 (引用の表現) 【委員会】

(元)

(参考: 『仙台城址の自然』 仙台市教育委員会 平成2年)

(修正)

(「仙台城址およびその周辺地域の植物相」 『仙台城址の自然』 仙台市教育委員会 平成2年の内容を参考に作成した)

(10) P17 第2章 仙台城跡の概要 第1節 仙台城跡の位置と自然的環境 4 仙台城跡の地質 図2-8 図中の文字【パブコメ】

(元) 竜ノ口層

(修正) 竜ノ口層

(11) P19 第2章 仙台城跡の概要 第2節 仙台城跡の歴史的環境 1 仙台城跡の歴史的変遷
＜中世の遺構＞4 段落目【パブコメ】

(元)・・・城郭に伴う整地層の下層から、虎口跡や縦堀などが発見されています。

(修正)・・・城郭に伴う整地層の下層から、虎口跡や縦整堀などが発見されています。

(12) P23 第2章 仙台城跡の概要 第2節 仙台城跡の歴史的環境 1 仙台城跡の歴史的変遷

(修正)以下の図を追加

図 2-17 仙台城下絵図(寛文4年・1664)宮城県図書館所蔵

図 2-18 仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵図 懸造(江戸時代)仙台市博物館所蔵

図 2-19 仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵図 中門(江戸時代)仙台市博物館所蔵

(13) P23～44 第2章 仙台城跡の概要 第2節 仙台城跡の歴史的環境 第3節 仙台城跡周辺の社
教施設等 第4節 仙台城跡とその周辺の土地利用規制等

(修正)図番号の変更

図 2-17	→	図 2-20	図 2-18	→	図 2-21	図 2-19	→	図 2-22	図 2-20	→	図 2-23
図 2-21	→	図 2-24	図 2-22	→	図 2-25	図 2-23	→	図 2-26	図 2-24	→	図 2-27
図 2-25	→	図 2-28	図 2-26	→	図 2-29	図 2-27	→	図 2-30	図 2-28	→	図 2-31
図 2-29	→	図 2-32	図 2-30	→	図 2-33	図 2-31	→	図 2-34	図 2-32	→	図 2-35
図 2-33	→	図 2-36	図 2-34	→	図 2-37	図 2-35	→	図 2-38	図 2-36	→	図 2-39
図 2-37	→	図 2-40	図 2-38	→	図 2-41	図 2-39	→	図 2-42	図 2-40	→	図 2-43
図 2-41	→	図 2-44	図 2-42	→	図 2-45	図 2-43	→	図 2-46	図 2-44	→	図 2-47
図 2-45	→	図 2-48	図 2-46	→	図 2-49	図 2-47	→	図 2-50			

(14) P24 第2章 仙台城跡の概要 第2節 仙台城跡の歴史的環境 1 仙台城跡の歴史的変遷
表 2-1 仙台城跡関連年表 (1)【パブコメ】

(元)1602 城がほぼ完成したと伝わる、大広間完成記事あり

(修正)1602 城がほぼ完成したと伝わる、大広間完成と記す記事史料あり

(15) P24 第2章 仙台城跡の概要 第2節 仙台城跡の歴史的環境 1 仙台城跡の歴史的変遷
表 2-1 仙台城跡関連年表 (1)【パブコメ】

(元)1609 政宗、懸作より「つるへ鉄砲」を見る。

(修正)1609 政宗、「懸作」より「つるへ鉄砲」を見る。

(16) P25 第2章 仙台城跡の概要 第2節 仙台城跡の歴史的環境 1 仙台城跡の歴史的変遷
表 2-1 仙台城跡関連年表 (2)【パブコメ】

(元)1869 藩籍奉還

(修正)1869 藩籍版籍奉還

(17) P29 第2章 仙台城跡の概要 第2節 仙台城跡の歴史的環境 3 仙台城跡の縄張【パブコメ】

(元) しかし、将来的には、江戸時代の呼称に統一すべきと考えるため、

(修正) しかし、将来的には、可能な限り江戸時代の呼称に統一すを使っていくべきと考えるため、

(18) P35 第2章 仙台城跡の概要 第2節 仙台城跡の歴史的環境 4 仙台城跡周辺の歴史的資産表 2-5【パブコメ】

(元) 2 経ヶ峯伊達家墓所 初代～3代、9・10代藩主の墓所（市史跡）

(修正) 2 経ヶ峯伊達家墓所 初代～3代、9・~~10~~11代藩主の墓所（市史跡）

(19) P35 第2章 仙台城跡の概要 第2節 仙台城跡の歴史的環境 4 仙台城跡周辺の歴史的資産表 2-5【パブコメ】

(元) 8 茂ヶ崎山伊達家墓所 4～8代、11代から13代藩主の墓所

(修正) 8 茂ヶ崎山伊達家墓所 4～8代、10・12・11代から13代藩主の墓所

(20) P37 第2章 仙台城跡の概要 第3節 仙台城跡周辺の社教施設等 図 2-35【パブコメ】

(修正) 図中に、「せんだいメディアテーク」を加える。

第3章

(21) P66 第3章 仙台城跡の現状 第3節 これまでの調査成果 8 周辺の関連遺跡の発掘調査成果 (1) 地下鉄建設等に伴う調査【パブコメ】

(元) 調査の結果、仙台城修変位配された家臣の屋敷に・・・

(修正) 調査の結果、仙台城修変位周辺に配された家臣の屋敷に・・・

(22) P78 第3章 仙台城跡の現状 第3節 これまでの調査成果 9 史資料調査 図 3-65 キャプション

(元) 仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵図（千田家姿絵図）大広間部分

(修正) 仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵図~~（千田家姿絵図）~~大広間部分

(23) P81 第3章 仙台城跡の現状 第3節 これまでの調査成果 10 石垣の分布と変遷 下から8行目【パブコメ】

(元) 元和元年（1681）に修復が許可された・・・

(修正) ~~元和~~天和元年（1681）に修復が許可された・・・

(24) P85 第3章 仙台城跡の現状 第3節 これまでの調査成果 10 石垣の分布と変遷 図 3-94 キャプション【パブコメ】

(元) 元和元年（1681）許可か

(修正) ~~元和~~天和元年（1681）許可か

(25) P86 第3章 仙台城跡の現状 第3節 これまでの調査成果 11 自然的調査の成果【パブコメ】

(元) 仙台市教育委員会は、平成元年（1989）に・・・

(修正) 仙台市教育委員会はは、平成元年（1989）に・・・

(26) P86 第3章 仙台城跡の現状 第3節 これまでの調査成果 11 自然的調査の成果【パブコメ】

(元) ・東北大学地学部附属植物園のモミ林の動態

(修正) ・東北大学地理学部附属植物園のモミ林の動態

(27) P89 第3章 仙台城跡の現状 第3節 これまでの調査成果 12 社会的調査の成果 (3) 仙台城跡周辺の交通機関の利用状況 ②市道の交通量【パブコメ】

(元) また、仙台市が行った交差点の交通量調査のうち・・・交通量は1,305台です。

(修正) また、仙台市が行った交差点の交通量調査のうち・・・交通量は1,305台です。

(詳細は仙台市ホームページに掲載しています。ホームページアドレス

<http://www.city.sendai.jp/kotsu-kekaku/kurashi/machi/kotsu/data/kosatn.html>)

第4章

(28) P91 第4章 史跡仙台城跡の本質的価値 第1節 (2)【委員会】

(元) 仙台城跡は地形的条件を巧みに利用し防御性を高めており、御裏林と称され城内水利の供給源ともなっていた青葉山の自然林、天然の要害としての竜の口溪谷など、遺構と連続性をもって価値を形成する豊かな自然環境が、城郭としての特性をより深めています。城を構成する自然環境の一部は天然記念物青葉山として指定されており、都市近郊においてきわめて貴重で学術上の価値が高いものです。

(修正) 仙台城跡は地形的条件を巧みに利用し防御性を高めており、御裏林と称され城内水利の供給源ともなっていた青葉山の自然林、天然の要害としての竜の口溪谷、外堀ともいえる広瀬川など、遺構と連続性をもって価値を形成する豊かな自然環境が、城郭としての特性をより深めています。城を構成する自然環境の一部は天然記念物青葉山として指定されており、都市近郊においてきわめて貴重で学術上の価値が高いものです。

(29) P93 第4章 史跡仙台城跡の本質的価値 第3節 1 上から8行目【委員会・パブコメ】

(元) 「①本質的価値を構成する諸要素」は、・・・

(修正) 史跡の本質的価値の評価は、時間の経過とともに進化するという視点も重要ですが、現時点では次のように考えます。

「①本質的価値を構成する諸要素」は、・・・

(30) P93 第4章 史跡仙台城跡の本質的価値 第3節 1 下から4行目【委員会・パブコメ】

(元)「イ. その他の諸要素」は、史跡の本質的価値に直接関わりのない施設、工作物、石垣等に影響を与えている樹木などであり、将来的には移設等も含めた取扱いを検討すべき要素です。

(修正)「イ. その他の諸要素」は、史跡の本質的価値に直接関わりのない施設、工作物、石垣等に影響を与えている樹木などでありすが、その中には時間の経過や研究の進展により新たな価値が付与される可能性があるものも含まれると考えられますので、将来的には移設等も含めた今後個別に取扱いを検討すべき要素です。

(31) P95 第4章 史跡仙台城跡の本質的価値 第3節 地区ごとの構成要素 2 史跡を構成する諸要素

(4) 地区ごとの具体的な諸要素

図4-3 キャプション【委員会】

(元) I区(本丸)の遺構

(修正) I区(本丸)の遺構＜本質的価値を構成する諸要素＞

(32) P97 第4章 史跡仙台城跡の本質的価値 第3節 地区ごとの構成要素 2 史跡を構成する諸要素

(4) 地区ごとの具体的な諸要素

図4-18 キャプション【委員会】

(元) I区(本丸) ガイダンス施設、解説・誘導サイン等の位置図

(修正) I区(本丸) ガイダンス施設、解説・誘導サイン等の位置図＜本質的価値を構成する諸要素以外の諸要素＞

(33) P98 第4章 史跡仙台城跡の本質的価値 第3節 地区ごとの構成要素 2 史跡を構成する諸要素

(4) 地区ごとの具体的な諸要素

図4-27 キャプション【委員会】

(元) I区(本丸) 公園施設・顕彰碑等の位置図

(修正) I区(本丸) 公園施設・顕彰碑等の位置図＜本質的価値を構成する諸要素以外の諸要素＞

(34) P100 第4章 史跡仙台城跡の本質的価値 第3節 地区ごとの構成要素 2 史跡を構成する諸要素 (4) 地区ごとの具体的な諸要素

図4-40 キャプション【委員会】

(元) II区(登城路)・III区(三の丸[東丸])の遺構

(修正) II区(登城路)・III区(三の丸[東丸])の遺構＜本質的価値を構成する諸要素＞

(35) P102 第4章 史跡仙台城跡の本質的価値 第3節地区ごとの構成要素 2 史跡を構成する諸要素 (4) 地区ごとの具体的な諸要素

図4-58 キャプション【委員会】

(元) II区(登城路)・III区(三の丸[東丸])のサイン等位置図

(修正) II区(登城路)・III区(三の丸[東丸])のサイン等位置図<本質的価値を構成する諸要素以外の諸要素>

(36) P104 第4章 史跡仙台城跡の本質的価値 第3節地区ごとの構成要素 2 史跡を構成する諸要素 (4) 地区ごとの具体的な諸要素

図4-74 キャプション【委員会】

(元) II区(登城路)・III区(三の丸[東丸])の公園施設・顕彰碑等位置図

(修正) II区(登城路)・III区(三の丸[東丸])の公園施設・顕彰碑等位置図<本質的価値を構成する諸要素以外の諸要素>

(37) P106・107 第4章 史跡仙台城跡の本質的価値 第3節地区ごとの構成要素 2 史跡を構成する諸要素 (4) 地区ごとの具体的な諸要素

図4-91 から図4-102 まで、再レイアウト。【委員会】

<本質的価値を構成する諸要素>、<本質的価値を構成する諸要素以外の諸要素>の文言を追加。

(38) P108 第4章 史跡仙台城跡の本質的価値 第3節地区ごとの構成要素 2 史跡を構成する諸要素 (4) 地区ごとの具体的な諸要素

図4-104 キャプション【委員会】

(元) IV区(二の丸)のサイン等位置図

(修正) IV区(二の丸)のサイン等位置図<本質的価値を構成する諸要素以外の諸要素>

(39) P109 第4章 史跡仙台城跡の本質的価値 第3節地区ごとの構成要素 2 史跡を構成する諸要素 (4) 地区ごとの具体的な諸要素

図4-111 キャプション【委員会】

(元) IV区(二の丸)の公園施設等位置図

(修正) IV区(二の丸)の公園施設等位置図<本質的価値を構成する諸要素以外の諸要素>

(40) P110 第4章 史跡仙台城跡の本質的価値 第3節地区ごとの構成要素 2 史跡を構成する諸要素 (4) 地区ごとの具体的な諸要素

図4-118 キャプション【委員会】

(元) V区(御裏林・本丸縁辺崖地)の遺構位置図

(修正) V区(御裏林・本丸縁辺崖地)の遺構位置図<本質的価値を構成する諸要素>

(41) P111 第4章 史跡仙台城跡の本質的価値 第3節地区ごとの構成要素 2 史跡を構成する諸要素 (4) 地区ごとの具体的な諸要素

図4-125 キャプション【委員会】

(元) V区(御裏林・本丸縁辺崖地)のサイン等位置図

(修正) V区(御裏林・本丸縁辺崖地)のサイン等位置図<本質的価値を構成する諸要素以外の諸要素>

図4-126 キャプション【委員会】

(元) V区(御裏林・本丸縁辺崖地)の道路等位置図

(修正) V区(御裏林・本丸縁辺崖地)の道路等位置図<本質的価値を構成する諸要素以外の諸要素>

(42) P113 第4章 史跡仙台城跡の本質的価値 第3節 地区ごとの構成要素 2 史跡を構成する諸要素 (4) 地区ごとの具体的な諸要素 図4-140、図4-143~146【パブコメ】

(修正)・図4-140 図中の番号 ④ ⇒ ③、 ⑤ ⇒ ④、 ⑥ ⇒ ⑤

- ・図4-143 キャプション 東から見た護岸石垣④
- ・図4-144 キャプション 護岸石垣④③
- ・図4-145 キャプション 東日本大震災で被災した箇所⑤④
- ・図4-146 キャプション 河川敷に散在する石垣石材⑥⑤

(43) P114 第4章 史跡仙台城跡の本質的価値 第3節地区ごとの構成要素 2 史跡を構成する諸要素 (4) 地区ごとの具体的な諸要素

図4-147 キャプション

(元) VI区(城郭東縁部)の遺構位置図

(修正) VI区(城郭東縁部)の現況図

第5章

(44) P118 第5章 史跡仙台城跡の保存・活用・整備の現状と課題 第1節 保存 [課題]イ 公有化【パブコメ】

(元) 指定地のうち公有化されていない範囲についての公有化が課題です。なお、公有化にあたっては所有者の意向を十分に尊重します。

(修正) 指定地のうち公有化されていない範囲についての公有化が課題です。なお、公有化にあたっては所有者の意向を十分に尊重し前提として進めます。

第6章

(45) P133 第6章 史跡仙台城跡の保存・活用の大綱と基本方針 第2節 (1) 保存の基本方針【委員会】

(元) 史跡仙台城跡の本質的価値を構成する要素である石垣、堀などの遺構や自然地形、植生などを確実に保存し、後世に継承します。史跡指定地に重複している天然記念物青葉山についても、あわせて確実な保存を図ります。

(修正) 史跡仙台城跡の本質的価値を構成する要素である石垣、堀などの遺構や自然地形を保存するとともに植生を保全し、後世に継承します。史跡指定地に重複している天然記念物青葉山についても、あわせて保全を図ります。

※参考

環境省ホームページ

「自然環境局では、原生的な自然から身近な自然までそれぞれの地域に応じた自然環境の保全を行い、自然とのふれあいの推進を図るとともに、生物多様性の保全や野生生物の保護及び管理、国際的取り組みの推進などの施策を進めています。」

(46) P134 第6章 史跡仙台城跡の保存・活用の大綱と基本方針 第2節 (2) 活用の基本方針【委員会】

(④として追加)

④ 文化財を観光資源としても活かし、地域社会・地域経済を活性化するという観光まちづくりの視点からの施策について検討していきます。

※~~④・⑤~~ → ⑤・⑥

(47) P134 第6章 史跡仙台城跡の保存・活用の大綱と基本方針 第2節 (2) 活用の基本方針⑤【委員会】

(元) ~~⑤~~史跡指定地に重複している天然記念物青葉山については、東北大学植物園の活用方針を踏まえ、連携して活用を図ります。

(修正) ⑥史跡指定地に重複している天然記念物青葉山については、東北大学植物園の活用方針を踏まえ、連携して活用を図ります。東北大学が天然記念物の保存活用計画を策定する場合には、本計画との調整を求めていきます。

第7章

(48) P140 第7章 保存の方向性と方法 第2節 方法 (2) 構成要素ごとの方法 B 本質的価値を構成する諸要素以外の諸要素の取扱い ⑤顕彰碑等【パブコメ】

(元)・保存・活用のための整備を行う際に整備対象地区に顕彰碑等がある場合、その取り扱いについては個別に検討します。

(修正)・保存・活用のための整備を行う際に整備対象地区に顕彰碑等がある場合、その取り扱いについては所有者の意向を前提としながら、個別に検討します。

(49) P147 第7章 保存の方向性と方法 第2節 (4) ②地区ごとの保存管理の方針 第三種保存地区 1行目【委員会】

(元) 史跡指定地内に存在する車両通行のある市道部分です。場所によっては、特別保存地区及び第一種保存地区内を通過しており、

(修正) 史跡指定地内に存在する車両通行のある市道部分です。場所によっては、第一種保存地区 1 及び第一種保存地区 2 の中を通過しており、

(50) P148 第7章 保存の方向性と方法 第2節 方法 (6) 公有化等について【パブコメ】

(元) 史跡指定地の公有化については、土地所有者の意向を十分配慮したうえで進めます。

(修正) 史跡指定地の公有化については、土地所有者の意向を十分配慮した前提としたうえで進めます。

第8章

(51) P151 第8章 活用の方向性と方法 第1節 方向性【委員会】

(1)～(5)の記述の順番を、第2節方法と関連付ける。また、「観光まちづくり」の方向性を追加する。

(1) : そのまま

~~(2)~~ → (5)

~~(3)~~ → (2)

~~(4)~~ → (3)

~~(5)~~ → (6)

(4) として追加

国民の財産である史跡仙台城跡を観光資源としても活かすことにより、交流を生み、地域の誇りを認識し、地域経済を活性化するという観光まちづくりの視点からの施策について、保存とのバランスを取りながら検討していきます。

(52) P152・153 第8章 活用の方向性と方法

「(3) 地域における活用」の内容のうち、観光に寄与する内容を分けて項目を別に起こす。【委員会】

(4) 観光まちづくりにおける活用

- ・ 国史跡として指定されている仙台城跡は国民共有の貴重な財産ですので、国内外の多くの方々にその価値をより深く知っていただきたいと思います。そのための情報発信や現地での解説などについては、観光に携わる関係者の意見も聞くことにより、より多くの方々に仙台城跡の価値を広く伝え、仙台への来訪者の増加につながるよう努めます。
- ・ 多くの方が仙台城跡を訪れるきっかけづくりとして、史跡空間を利用した活動を検討します。仙台城跡の歴史に関わるイベントに加え、例えば石垣を利用したプロジェクションマッピングのようなアートイベントなど、他の史跡での実施例なども参考に検討していきます。
- ・ 日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」に認定されたことを効果的に活用した事業を展開しま

す。市内を循環する観光バス「るーぷる仙台」は、仙台城跡をはじめとして、日本遺産の構成文化財である経ヶ峯伊達家墓所、大崎八幡宮、文化財を所蔵する仙台市博物館などを結んでいます。「るーぷる仙台」による見学は、日本遺産のストーリーを知るうえで入門的なモデルコースとも言えます。日本遺産事業の充実について本市内の関係する部局と連携を図ります。さらには宮城県との連携も進め、瑞巖寺など県内にある多くの資産も活用した周遊ルートなども開発し、仙台城跡への集客向上を目指します。

市内にはその他の構成文化財として、陸奥国分寺薬師堂、東照宮がありますが、これらも含めた活用事業も検討していきます。陸奥国分寺跡は、地下鉄東西線の駅に近く、平成 29 年度には史跡整備を行い「史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設」が建設されましたので、今後より一層、活用をすすめていきます。

(53) P154 第 8 章 活用の方向性と方法

(修正) 以下の写真を追加

図 8-2 本丸大広間跡でのボランティアガイド活動

図 8-3 仙台城内を走る「るーぷる仙台」

第 10 章

(54) P159 第 10 章 運営・体制の整備の方向性と方法 第 2 節 方法 1 通常の維持管理、保存と公開に関する運営・体制の整備 2 段落目【委員会】

(元) 活用事業にあたっては、文化財部局が主体となり進めますが、観光部局が企画するイベントなどの事業もありますので、関係部局間での連携を図りながら進めます。また、ボランティアガイドなどの市民活動団体、観光関係諸団体などとの連携を図り、仙台城跡に関する情報発信やイベントの実施など、さまざまな活動を協働して行います。

(修正) 活用事業にあたっては、文化財部局が主体となり進めますが、観光部局が企画するイベントなどの事業もありますので、関係部局間での連携を図りながら進めます。また、ボランティアガイドなどの市民活動団体、観光関係諸団体などとの連携を図り、仙台城跡に関する情報発信やイベントの実施など、さまざまな活動を協働して行います。

なお、一つの部局に寄せられた市民活動団体からの要望などへの対応について、他の関係する部局でも情報共有できるよう、普段からの連絡調整に努めます。